

各段階における到達目標	
総合福祉学科	高等学校教諭一種免許状（福祉）
履修年次	到達目標
1年次	<p>教養科目、教科に関する科目、教職に関する科目などの学びを通して、「自分らしく、世の中を支える」強くてしなやかな人材となって社会に出ることを目指しつつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・概論的な幅広い科目を学び高等学校一種（福祉）教員にふさわしい豊かな教養を身につけることができる。</li> <li>・教育の理念及び歴史並びに思想とともに福祉の理念を理解し、社会の課題を探究するとともに教育の本質に関して考察し実践していくことができる。</li> </ul>
2年次	<p>教科に関する科目、教職に関する科目、教職に関する科目などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉の相談・援助に関する理論と方法を身につけるなど、専門的知識を涵養し教育実践に生かすことができる。</li> <li>・教育の相談と方法を身につけると共に、教育課程の意義及び教育・編成方法並びに学習指導案の作成方法を理解し、身につけることができる。</li> </ul>
3年次	<p>教科に関する科目の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉科に関する指導と生徒への指導の理論と方法を身につけることができる。</li> <li>・福祉に関する指導法と特別活動の理論を身につけることができる。</li> <li>・福祉の視座をもって教職の意義及び教員の役割並びに職務内容などを理解することができる。</li> <li>・教員としての適性を自己覚知し、教職を目指す上で必要となる資質を向上させる意欲と姿勢を身につけることができる。</li> </ul>
4年次	<p>教職に関する科目の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の本質を追究し高校の現場で教育実習生として教壇に立ち学習指導要領に基づく教育実習経験を通して教員志望の意識を高めることができる。</li> <li>・本学の建学の精神に基づく教員養成の理念に合致し高校「福祉」の教員免許を取得するにふさわしい人材となることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
総合福祉学科	高等学校教諭一種免許状（保健体育）
履修年次	到達目標
1年次	<p>スポーツ実習や体育原理、教育原理などの学びを通して、健康と福祉に関する豊かな基礎的教養と保健体育分野で活躍し得る教養を修得し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としての常識を身につけることができる。</li> <li>・ 在るべき教員像を理解することができる。</li> <li>・ 教育の本質を洞察することができる。</li> <li>・ 基礎知識などを教育実践に活かすことができる。</li> </ul>
2年次	<p>保健体育科指導法や教育経営論、教育課程論、教育方法論などの学びを通して、保健体育分野の学習指導の基礎とスポーツ及び教育課程編成の理論と方法などを修得し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の変遷を理解した上で、現行学習指導要領を理解することができる。</li> <li>・ 体育分野の学習指導案を作成することができる。</li> <li>・ ICTを活用した教育方法と教育技術の基礎的理論を理解することができる。</li> <li>・ 特別の支援を必要とする生徒への理解に基づく配慮ができる。</li> <li>・ 教職を目指す者としての適性を自覚して、教育実践に活かすことができる。</li> <li>・ 必要な資質の向上に自己研鑽していく必要性を理解することができる。</li> <li>・ 授業計画の作成、模擬授業を通して授業を実践することができる。</li> </ul>
3年次	<p>生徒・進路指導論や特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、教育実習指導などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の子どもの発達段階に応じた教育課題を探求し検討することができる。</li> <li>・ 現場を踏まえた実践力を養い、4年次における教育実習へとつなげていくことができる。</li> <li>・ 基礎的理論と方法を教育実践に活かすことができる。</li> <li>・ 個別の子どもの特性や状況に応じ、課題探求授業を構想することができる。</li> <li>・ 教員志望の意識を高めるとともに、教壇に立つ上での心得を身につけることができる。</li> </ul>
4年次	<p>教育実習や教職実践演習などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校保健体育教員を目指す上での自己課題を自覚し、教育の本質を常に追求し、自己研鑽していく意志を身につけることができる。</li> <li>・ 教育実践者として、チーム学校を地域社会と共に運営していくチーム員である教員としての使命感と責任感を身につけることができる。</li> <li>・ 本学の保健体育教員の養成教育目標に到達することにより、教育実践者としてあるべき自らの教員像を確立し、それにふさわしい人物となることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
総合福祉学科	中学校教諭一種免許状（保健体育）
履修年次	到達目標
1年次	<p>スポーツ実習や体育原理、教育原理などの学びを通して、健康と福祉に関する豊かな基礎的教養と保健体育分野で活躍し得る教養を修得し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としての常識を身につけることができる。</li> <li>・ 在るべき教員像を理解することができる。</li> <li>・ 教育の本質を洞察することができる。</li> <li>・ 基礎知識などを教育実践に活かすことができる。</li> </ul>
2年次	<p>保健体育科指導法や教育経営論、教育課程論、教育方法論などの学びを通して、保健体育分野の学習指導の基礎とスポーツ及び教育課程編成の理論と方法などを修得し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の変遷を理解した上で、現行学習指導要領を理解することができる。</li> <li>・ 体育分野の学習指導案を作成することができる。</li> <li>・ ICTを活用した教育方法と教育技術の基礎的理論を理解することができる。</li> <li>・ 特別の支援を必要とする生徒への理解に基づく配慮ができる。</li> <li>・ 介護等体験を通して、人権教育と人間関係形成の重要性を自覚することができる。</li> <li>・ 教職を目指す者としての適性を自覚して、教育実践に活かすことができる。</li> <li>・ 必要な資質の向上に自己研鑽していく必要性を理解することができる。</li> <li>・ 授業計画の作成、模擬授業を通して授業を実践することができる。</li> </ul>
3年次	<p>生徒・進路指導論やフィールドスタディプログラム A(学校安全)、フィールドスタディプログラム B(授業実践)、道徳教育論、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、教育実習指導などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の子どもの発達段階に応じた教育課題を探求し検討することができる。</li> <li>・ 現場における新たな教育課題を踏まえた実践力を養い、4年次における教育実習へとつなげていくことができる。</li> <li>・ 基礎的理論と方法を教育実践に活かすことができる。</li> <li>・ 個別の子どもの特性や状況に応じ、課題探求授業を構想することができる。</li> <li>・ 教員志望の意識を高めるとともに、教壇に立つ上での心得を身につけることができる。</li> </ul>
4年次	<p>教育実習や教職実践演習などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校保健体育教員を目指す上での自己課題を自覚し、教育の本質を常に追求し、自己研鑽していく意志を身につけることができる。</li> <li>・ 教育実践者として、チーム学校を地域社会と共に運営していくチーム員である教員としての使命感と責任感を身につけることができる。</li> <li>・ 本学の保健体育教員の養成教育目標に到達することにより、教育実践者としてあるべき自らの教員像を確立し、それにふさわしい人物となることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
管理栄養学科	栄養教諭 1 種免許状
履修年次	到達目標
1 年次	<p>基礎栄養学、栄養教育概論などの専門分野や、医学概論、生化学、食べ物と健康Ⅰ・Ⅱ、食品衛生学、調理学などの専門基礎分野の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士が、保健、医療、福祉及び教育等の分野において栄養の指導を行う専門職であることを理解することができる。</li> <li>・栄養教諭 1 種免許状の取得には、管理栄養士の学びが必要であることを理解することができる。</li> </ul>
2 年次	<p>応用栄養学Ⅰ、栄養教育論、臨床栄養学概論Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理論Ⅰ・Ⅱなどの専門分野の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士が栄養の指導を行うために必要な専門知識について具体的に理解することができる。</li> <li>・専門知識は、栄養教諭の職務内容に関連することを理解することができる。</li> </ul> <p>栄養に係る教育に関する科目の食教育指導論、学校栄養指導論の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童及び生徒の栄養に係る課題を把握することができる。</li> <li>・食生活に関する歴史的及び文化的事項を把握することができる。</li> <li>・栄養教諭の役割及び職務内容、食に関する指導の方法などを修得し教育実践に活かすことができる。</li> </ul> <p>教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目について、履修計画に基づいて徐々に修得することができる。</p>
3 年次	<p>応用栄養学Ⅱ、栄養カウンセリング論、栄養治療学、栄養教育論実習、給食経営管理実習など専門分野の学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士の専門知識・技術を深め、業務全般を理解することができる。</li> <li>・校外実習(給食の運営)、臨地実習(給食経営管理)の臨地体験により、栄養教諭が行う学校における給食管理の重要性を理解することができる。</li> </ul> <p>教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目を履修計画に基づき修得することができる。</p> <p>栄養教育実習指導を通して、4 年次の教育実習に向けた心構えや、チーム学校の一員としての栄養教諭の使命感と責任感を自覚することができる。</p>
4 年次	<p>管理栄養士の臨地実習(臨床栄養Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養Ⅱ)、臨地実習(公衆栄養)の内の 2 科目を選択し、管理栄養士の現場業務を体験することを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCA サイクルに基づく管理栄養士業務の全般を身につけることができる。</li> <li>・栄養教諭 1 種の基礎資格である管理栄養士の学びを達成することができる。</li> </ul> <p>教育実習や教職実践演習(栄養教諭)などの学びを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭の食に関する指導と給食管理の業務について、実践力を培うことができる。</li> <li>・学校における各教科の教育目標と食育の視点を関連させ、年間指導計画を立案し、PDCA サイクルに基づく計画・実施・評価を行うことができる。</li> <li>・栄養教諭を目指すための自己課題を意識し、栄養学を常に追求し自己研鑽をしていく意欲を身に付けることができる。</li> <li>・管理栄養士と教諭の資質を併せ持ち、栄養教諭 1 種免許状を取得するにふさわしい人物になることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
心理学科	高等学校教諭1種免許状（公民）
履修年次	到達目標
1年次	<p>○「教育原理」や「教職概論」等の科目で、学校教育における教職の意義や理念・制度を学び、「発達心理学」や「教育心理学」等の科目で、人の発達段階におけるあらましや要因、行動分析のあり方や、生徒理解に必要な心理発達論を学ぶことにより、教育に必要な基礎理論・知識を修得する。</p> <p>○「法学概論」や「心理学概論」等の社会科の内容を構成している基礎的な社会科教育分野の知識を修得する。また、学校教育における情報教育の基礎的な能力を身につける。</p> <p>○カウンセリングの基礎知識を学び、学校教育に活かせるようにする。</p>
2年次	<p>○「教育課程論」の科目で、教育課程の意義や編成等を理解し、学習指導要領に基づいたカリキュラム作成やマネジメント、授業の指導方法の為の知識を修得する。</p> <p>○「教育方法論」の科目で、学習指導要領に基づく授業の指導方法の為の知識を修得する。また、「教育相談」の科目で、生徒の心理の発達や生徒理解のための教育相談に関する基礎を理解する。</p> <p>○「経済学」や「社会・集団・家族心理学」等の科目で、社会科の内容を構成している社会科構成分野の知識を修得する。</p>
3年次	<p>○「教育経営論」や「生徒・進路指導論」等の科目で、学校・学級経営に関する理論や方策、生徒指導についての基礎を修得する。また、大学独自科目の「フィールドスタディプログラムA」等の科目で、新たな教育課題である学校管理下における事件や災害から子どもを守るための意識や知識の向上を図る。</p> <p>○「障害児・障害者心理学」等の科目で、社会科高校公民を構成している社会科教育分野の知識を習得する。</p> <p>○「社会科・公民科指導法」等の科目で、教材研究や指導のあり方についての専門的な知識を修得し、実践できる。</p> <p>○「教育実習指導」の科目で、教育実習に向けて高等学校の実際の現場を体験し、授業を参観したりすることにより、実践力を培う。</p>
4年次	<p>○「教育実習」等の科目で、高等学校教育の現場での体験実習を通して、実習指導や教科指導、学級経営について理解するとともに、課題を持つことができる。</p> <p>○「教職実践演習」等の科目で、教育実習での体験をもとに、より深く発展的に教員としての資質や技能を向上させ、実践的指導力の基盤をつくる。</p>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY



各段階における到達目標	
心理学科	中学校教諭1種免許状（社会）
履修年次	到達目標
1年次	<p>○「教育原理」や「教職概論」等の科目で、学校教育における教職の意義や理念・制度を学び、「発達心理学」や「教育心理学」等の科目で、人の発達段階におけるあらましや要因、行動分析のあり方や、生徒理解に必要な心理発達論を学ぶことにより、教育に必要な基礎理論・知識を修得する。</p> <p>○「法学概論」や「日本の歴史と文化」等の社会科の内容を構成している基礎的な社会科教育分野の知識を修得する。また、学校教育における情報教育の基礎的な能力を身につける。</p> <p>○カウンセリングの基礎知識を学び、学校教育に活かせるようにする。</p>
2年次	<p>○「教育課程論」の科目で、教育課程の意義や編成等を理解し、学習指導要領に基づいたカリキュラム作成やマネジメント、授業の指導方法の為の知識を修得する。</p> <p>○「教育方法論」の科目で、学習指導要領に基づく授業の指導方法の為の知識を修得する。また、「教育相談」の科目で、生徒の心理の発達や生徒理解のための教育相談に関する基礎を理解する。</p> <p>○「経済学」や「人文地理学」等の科目で、社会科の内容を構成している社会科構成分野の経済・地理等の知識を修得する。</p>
3年次	<p>○「教育経営論」や「生徒・進路指導論」等の科目で、学校・学級経営に関する理論や方策、生徒指導についての基礎を修得する。また、大学独自科目の「フィールドスタディプログラムA」等の科目で、新たな教育課題である学校管理下における事件や災害から子どもを守るための意識や知識の向上を図る。</p> <p>○「道徳教育論」等の科目で、教科としての道徳や特別活動に関する理論や具体的指導方法を修得する。</p> <p>○「社会科指導法」等の科目で、教材研究や指導のあり方についての専門的な知識を修得し、実践できる。</p> <p>○「教育実習指導」の科目で、教育実習に向けて中学校の実際の現場を体験し、授業を参観したりすることにより、実践力を培う。</p>
4年次	<p>○「教育実習」等の科目で、中学校教育の現場での体験実習を通して、実習指導や教科指導、学級経営について理解するとともに、課題を持つことができる。</p> <p>○「教職実践演習」等の科目で、教育実習での体験をもとに、より深く発展的に教員としての資質や技能を向上させ、実践的指導力の基盤をつくる。</p>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
子ども発達学科	小学校教諭一種免許状
履修年次	到達目標
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎ゼミナールや外国語、ICT リテラシー等の教養科目の履修を通して、教師としての基礎的資質・能力となる基礎的教養やアカデミックスキルを習得できる。</li> <li>・学科共通科目の子ども学総論や見学実習を含む子どもフィールドワークの履修を通して、小学校教諭の専門性の土台となる児童及び教師の仕事を理解して、教師としての目的意識や適性を自己確認することができる。</li> <li>・教職の基礎的科目である教育原理や教職概論、教育心理学等の履修を通して、教育の理念や意義、児童の発達や学習の過程を理解し、教職への意欲・関心を高めることができる。</li> <li>・教科に関する科目の履修を通して、学習指導要領に示される各教科の教育目標と学習内容、育成を目指す児童の資質・能力について理解することができる。</li> </ul>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程論等の履修を通して、その意義や編成の方法を理解し、各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを行う意義を理解できる。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法の履修を通して、教育課程全体で取り組む集団での活動の意義とその指導のあり方について理解できる。</li> <li>・教科に関する指導方法について、基礎的な学習指導理論を理解し、具体的授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけることができる。</li> <li>・介護等体験を通して、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性を理解できる。</li> </ul>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談や特別支援教育の履修を通して、児童の発達の状況に即し、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識を身につけることができる。</li> <li>・教育実習指導の履修を通して、教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高めることができ、また将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに自身の課題について自覚することができる。</li> <li>・教育実習の履修を通して、これまで学修した諸科目を統合し、教育現場の文脈でより深く理解することができるようになるとともに、教師としての倫理観と社会観を身につけることができる。</li> </ul>
4年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導論の履修を通して、生徒指導が学校の教育活動全体を通じて児童の個性の伸長を図りながら、社会的資質や能力を高めることを目指すことの意義とその方法論を理解できる。</li> <li>・教職実践演習の履修を通して、4年間大学で学習した知識・技能と教育実習等で得られた経験を統合して、教師としての実践的指導力を身につけることができる。</li> <li>・卒業研究をまとめることにより、生涯に渡り自律的に学び続ける教師としての基本姿勢を身につけることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

各段階における到達目標	
子ども発達学科	幼稚園教諭一種免許状
履修年次	到達目標
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養科目の中から教免法第 66 条の 6 で定められている「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の履修を通して、学びの基礎となる知識を身に着け、幅広い教養と豊かな人間性の基礎を築く。</li> <li>・教育原理、保育者論、教育経営論、教育心理学などの学びを通して、教育に関わる基礎的知識を習得し、幼児教育への関心・意欲を高める。</li> <li>・子どもと健康、子どもと環境、子どもと言葉、子どもと表現などの学びを通して、幼稚園における教育内容と意義を理解する。</li> </ul>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育・教育課程総論、教育方法論、子ども理解、子どもと人間関係などの学びを通して教育課程の意義や編成の概要が理解できる。</li> <li>・保育内容総論を始め、保育内容・健康、保育内容・環境、保育内容・言葉、保育内容・表現 I II などの学びを通して、保育内容の各領域のねらい・内容の取扱いについて、基本的な考え方や指導の方法を理解することができる。</li> </ul>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習指導の履修を通して、教育実習生として幼稚園の教育活動に参画する意識を高め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに自身の課題について自覚することができる。</li> <li>・教育実習により、教育者としての愛情と使命感を深め、大学で学んだ知識や技能を教育現場生かすことができる。</li> </ul>
4年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職実践演習の履修を通して、4年間大学で学習した知識・技能と教育実習等で得られた経験を統合して、教師としての実践的指導力を身につけることができる。</li> <li>・卒業研究をまとめることにより、生涯にわたり自律的に学び続ける教師としての基本姿勢を身につけることができる。</li> </ul>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY



各段階における到達目標	
子ども発達学科	特別支援学校教諭一種免許状
履修年次	到達目標
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の導入である特別支援教育総論の履修を通して、特別支援教育の理念、障害観の変遷、障害児教育の歴史、特別支援教育の動向・施策及び、インクルーシブ教育システム、教育・福祉・医療の連携など、基礎的・基本的事項について理解ができる。</li> <li>・視覚障害児教育総論、聴覚・言語障害児教育総論の履修を通して、視覚障害、聴覚・言語障害の定義、起因となる疾患・予後、障害特性への配慮事項、障害特性を踏まえた教育課程の編成と支援、幼児期や卒業後の生活とその接続など、基本的な事項について理解ができる。</li> </ul>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害児の心理・生理・病理、肢体不自由児の心理・生理・病理の履修を通して、知的障害、肢体不自由の各障害の定義、起因となる疾患・予後、知的発達と発達支援、アセスメントの基本的知識、社会的支援、等の基礎的な事項について理解ができる。</li> <li>・知的障害児教育論Ⅰ、肢体不自由児教育論Ⅰの履修を通して知的障害児、肢体不自由児の障害特性・発達特性に即した教育課程やその編成、個々の幼児児童生徒の実態に即した指導法の基礎・基本について理解ができる。</li> </ul>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害児教育論Ⅱ、肢体不自由児教育論Ⅱの履修を通して、知的障害児、肢体不自由児の各障害の障害特性・発達特性と、個々の幼児児童生徒の実態に即した教育課程編成、支援法について理解を深め、個別の指導計画や個別の教育支援計画、移行支援計画など、幼児期から卒業後の生活とその接続について理解ができる。</li> <li>・重複障害児教育総論の履修を通して、重複障害の定義、起因となる疾患・予後、障害特性をふまえた教育課程編成、医療的ケア等の指導法、個別の指導計画や個別の教育支援計画、移行支援計画など、幼児期から卒業後の生活とその接続などの基本的な事項について理解ができる。</li> <li>・病弱児の心理・生理・病理の履修を通して、病弱の定義、起因となる疾患・予後、学校生活を送る上での配慮事項、心理面・身体面への支援、アセスメントの基本的知識、社会的支援、等の基礎的な事項について理解ができる。</li> <li>・特別支援教育実習セミナー（4年後期まで）の履修を通して、特別支援学校の教育実習を行なう上での留意点、幼児児童生徒との関わり方、チームティーチング、記録の取り方と指導案の立案、模擬授業等を通して基本的な知識・技能を習得できる。</li> </ul>
4年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病弱児教育論の履修を通して、病弱児が病状に応じた多様な教育の場で学ぶ実態と、障害特性を踏まえた教育課程の編成と指導法、個別の指導計画や個別の教育支援計画、移行支援計画など、幼児期から卒業後の生活とその接続など基本的な事項について理解ができる。</li> <li>・発達障害児の心理・生理・病理の履修を通して、発達障害の定義、主な障害と予後、発達特性と心理アセスメントをふまえた支援、いじめや虐待等の迫害体験と二次障害、社会的支援、等の基本的な事項について理解ができる。</li> <li>・発達障害児教育総論の履修を通して、発達障害児の発達特性と発達困難を踏まえ、多様な学びの場に応じた支援、障害の状態に応じた指導法、個別の指導計画や個別の教育支援計画、移行支援計画など、幼児期から卒業後の生活とその接続など、基本的な事項について理解ができる。</li> <li>・特別支援教育実習の履修を通して、これまで学修した諸科目を統合し特別支援教育を実践的に理解し教職に就くものとしての能力や適性を考えるとともに、教師としての倫理観と社会観を身につけることができる。</li> </ul>

